

## 2011 アートマイル 報告書

日本学校名 [ Sherry's 英語教室 ] 担当教諭名 [ 塩飽 隆子 ] ( 中学 1・2年生 8 名 )  
 交流相手国 [ ウガンダ ]  
 海外学校名 [ Namilyango College School ] 担当教諭名 [ Mike Sembio ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように。 必要に応じて行を追加して ください。	英語		20

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	ウガンダと日本の人々・自然・文化
絵に込めたメッセージ 作品展示の際に掲載 することがあります。	ウガンダは日本の中学生にとって遠い国。「アフリカだからキリンやライオンがいるのかな」くらいの知識。どういう家で、どういう人が、どういう暮らしをしているのか、どんな学校でどんな学校生活をしているのか、見当もつかない。そんな国の同世代の中学生からフォーラムを使ってたくさんのことを教えてもらいました。こちらからは、日本のこと、特に地域のことや自分たちのことをたくさん伝えました。その成果を絵に表しました。お互いに、自分の国のことも描き、相手の国のことも描きました。

半分描いた絵と完成作品の画像を貼付してください。 ※Web 公開しますので児童の顔などの扱いにご注意ください。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
・アフリカのウガンダの自然・動物、町や村、人々の暮らし、学校の様子、伝統のお祭りや食べ物など、たくさんを相手から学んだ。・知ることからますます興味が沸き、もっと知りたい・伝えたい気持ちが高まり、意欲をもって最後まで取り組むことができた。・両方の国のことを描くという目標を早くに立てたので、事前の調べ学習から絵の制作まで意欲が持続し、充実した活動となった。	相手も意欲的で反応が良く、双方向のやり取りが十分にできたので、全てにおいて充実した活動となった。特に課題はなかった。

### ■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
自己紹介の様子、調べ学習の様子、絵を描いている様子など活動全体を通して親や他の学年の生徒に紹介した。	他の学年の生徒たちも大変関心を示し、親からも「とてもいい経験をしている」という感想が多く寄せられた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	・フォーラム上で、自己紹介・学校紹介・地域紹介をした。	・親に運動会の写真や家の周りの風景の写真を撮ってもらったり、夕食の食卓の写真を撮ってもらったりと、生徒が親に協力を得て積極的に自分たちのことを伝えようとした。	英語
情報収集	10月	・自分たちの町の伝統・文化・自然について、できるだけ多くの写真と使い、それに簡単な英語の説明文をつけて伝えた。	・ウガンダの自然・動物・人々・伝統行事を知っていくうちに、相手の国のことも描きたいと思うようになり、相手に提案し、合意を得た。	英語
テーマ検討	11月	・「ウガンダと日本の自然と文化」をテーマとした。	テーマについて、具体的に何を描くかをイメージしながら、さらに情報交換をした。インターネットでも調べた情報も相手と共有した	英語
制作	12月	・お互いのパーツがはっきりと分かれた構図ではなく、一体感があるような構図を工夫した。 ・グループごとに担当する場所を決めて一気に絵を描いた。	・それぞれが調べ学習の時に担当した部分を描くようにグループを編成したので、自信を持って意欲的に絵を描くことができた。	課外活動
鑑賞	3月	ウガンダ側は、日本の大使館・周辺の学校・地域の公的な教育機関などに声をかけて大々的なアートマイルお披露目セレモニーを開催した。日本側は先日絵が返ってきたばかりなのでまだ教室内で鑑賞をただけである。	ウガンダで完成のお披露目が盛大に開かれているのを知って、とても喜んだ。 実際に返ってきた完成作品を見て、自分たちも頑張って描いたけれど、相手もとても素晴らしい絵を描いてくれたので、大満足であった。	英語

■学習目標と成果はどうでしょうか？

「重視」には指導にあたって重視した順位を数字で記入してください。

「先生の手応え」の評価（5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:まったく関連がなかった）

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	2	⑤・4・3・2・1	自分たちの身近な食文化・地域の伝統文化についてその多様さと素晴らしさを再認識した。
異文化の理解	1	⑤・4・3・2・1	ウガンダの多様な民族と多様な伝統文化について知ることができた。
コミュニケーション力(説明・共感・英語)	4	5・④・3・2・1	知っている英語を使って文章を書く力がだんだんついた
情報活用能力(情報収集・発信)	5	5・4・③・2・1	フォーラムに生徒が直接メッセージを書きこむ機会が少なかった。
人間関係をつくる(学級内・交流相手)	7	⑤・4・3・2・1	活動を通して、クラス内だけでなく相手ともいい関係を作ることができた。生徒はウガンダに友達ができたと感じている。
協働する力(役割分担・協力)	8	⑤・4・3・2・1	調べ学習も絵の制作も役割分担をして、各自が役割を果たせた。
学習を追究する意欲	3	⑤・4・3・2・1	相手国に対する関心は最初から高く、最後まで持続した。
表現力(伝えたいことを絵で表す)	6	⑤・4・3・2・1	相手のことを考えながら、伝えたいことを精一杯表現できたと思う。
作品を鑑賞する力	9	⑤・4・3・2・1	たくさんの要素が詰めこまれているが、全体として調和しているのを感じ取っていた。